

平成23年度 まちづくり月間関連四行事受賞者等について

1. まち交大賞
2. まちづくり標語懸賞募集
3. 住まいのまちなみコンクール
4. まちの活性化・都市デザイン競技

第6回まち交大賞

1. まち交大賞について

まち交大賞(まちづくり情報交流大賞)(以下「まち交大賞」という)は、都市再生整備計画に基づくまちづくりにおいて、優良な計画が策定され、また事業の実施、評価、改善において優れた取り組みを行った地区などを対象として表彰し、関係者の栄誉をたたえとともに、受賞地区の事例を全国に幅広く紹介することにより、地域の創意工夫を活かしたまちづくりを促進することを目的として実施するものである。

2. 主催・共催等

主 催 : まちづくり情報交流協議会、(財)都市みらい推進機構

後 援 : 国土交通省

3. 対象地区

【候補地区】

I. 完了地区

平成21年度までに都市再生整備計画事業を完了した地区

II. 計画地区

平成22年度において都市再生整備計画事業を実施中の地区

【全国審査委員会】平成23年3月22日(火)

【表 彰】平成23年6月15日(まち交大賞(国土交通大臣賞))

平成23年7月(予定)(まちづくり達成大賞(まちづくり情報交流協議会会長賞))

(創意工夫大賞(都市みらい推進機構理事長賞))

(まちづくり効果賞)

(まちづくりシナリオ賞)

4. 全国審査委員会メンバー

委員長 高橋 洋二 (日本大学総合科学研究所教授)

委 員 浅田 義久 (日本大学経済学部教授)

今井 晴彦 (株アルメック技術顧問)

西郷真理子 (株まちづくりカンパニー・シーブネットワーク代表取締役)

神田 昌幸 (国土交通省都市・地域整備局まちづくり推進課都市総合事業推進室長)

真鍋 純 (国土交通省住宅局市街地建築課市街地住宅整備室長)

矢野 大二 (まちづくり情報交流協議会企画運営委員会委員長)

佐々木 健 ((財)都市みらい推進機構専務理事)

第6回まち交大賞(まちづくり情報交流大賞) 審査結果

賞	地区名	受賞者	概要
まち交大賞 (国土交通大臣賞) 【完了地区】	富山市中心 市街地地区	富山県 富山市	「公共交通の利便性の向上」「賑わい拠点の創出」「まちなか 居住の推進」という3本柱に沿って、中心市街地の活性化を 推進
まちづくり達成大賞 (まちづくり情報交流 協議会会長賞) 【完了地区】	河和田地区	福井県 鯖江市	道路舗装の高質化、景観整備等による伝統産業地らしいま ちづくりや、安全性・快適性の向上、災害に強いまちづくりを 推進
創意工夫大賞 (都市みらい推進機構 理事長賞) 【計画地区】	御船地区	熊本県 御船町	地域資源を生かした魅力の再生、広場整備による賑わいの 再生、既存建造物を活用した住環境の向上
まちづくり効果賞 【完了地区】	中心市街地 地区	北海道 東川町	東川の歴史、文化を活かして、活気のある美しい市街地の 再生を推進
	中山道太田宿 地区	岐阜県 美濃加茂市	歴史と文化にふれあうまちづくりで、地域住民の交流と観 光・商店街の活性化を推進
	沢之町公園 周辺地区	大阪府 大阪市	公共施設の一体整備により、地域コミュニティの活性化と災 害に強いまちづくりを推進
まちづくりシナリオ賞 【計画地区】	荻野川周辺 地区	神奈川県 厚木市	「健康・交流のみちづくり」や公園・公民館の整備などを市民 参加で計画し、自然環境を通じたコミュニティづくりを推進
	半田運河 蔵の街・ごん きつねの里地 区	愛知県 半田市	歴史・文化を感じながら、暮らし・憩い・散策を楽しめるよう回 遊性を高めるとともに中心市街地の賑わいの形成を図る

第28回 まちづくり標語懸賞募集

1. まちづくり標語懸賞募集について

まちづくり標語懸賞募集は、まちの主人公である住民自身と自治体が共同しながら愛着と誇りのもてる「わがまち」をつくっていくための合言葉を募るもので、平成22年度は3,689通（一般の部2,584通、児童・生徒の部1,105通）の応募がありました。

なお、優秀作品については、第29回まちづくり月間のパンフレットに用いられます。

2. 第28回まちづくり標語募集の課題

「新たな担い手たちが共に創り育てるまち」

まちの成熟とともに、地域の整備・管理・リニューアルを戦略的に進めるニーズが高まっています。まちづくりは公益性の高い分野ですが、これまでの行政主導の取組みに加え、住民、地元企業、NPO等の新たな担い手による取組みが急速に全国的に広まりつつあります。今後は、これらの取組みをさらに充実させるとともに、地域が一体となって支えていくことが必要です。様々な主体がまちづくりに取り組むことは、その地域における絆を作り直す気運を高め、支え合いと活気のあるコミュニティづくりにも繋がります。

新たな担い手や行政など様々な主体の連携による地域の個性を活かしたまちづくりを一層促進するため、今回は「新たな担い手たちが共に創り育てるまち」をテーマに合い言葉を募集します。

3. 主催等

主 催 : まちづくり月間実行委員会

後 援 : 国 土 交 通 省

4. スケジュール

募 集 : 平成22年7月1日～平成22年12月31日

選 考 : 平成23年3月11日（金）

表 彰 : 平成23年6月15日（水）特選（一般の部及び児童・生徒の部）：国土交通大臣表彰

※その他の賞は別途表彰

5. 審査委員

委員長 幸田 シャーミン（ジャーナリスト）

委 員 藤本 昌也（建築家）

柳島 康治（コピーライター）

花岡 洋文（国土交通大臣官房審議官（都市・地域整備局担当））

井上 俊之（国土交通大臣官房審議官（住宅局担当））

荻原 達朗（（財）都市計画協会 専務理事）

第28回まちづくり標語懸賞募集 審査結果

一般の部

賞	作 品	作者氏名	住 所
特 選	私達、作っちゃいます、私町	竹中 <small>ゆま</small> 結麻	兵庫県姫路市
準特選	顔見せ 知恵出し 手を貸して 地域ぐるみの まちづくり	牧内 功	長野県飯田市
入 選	新しい 担い手加わり喜びが さらにふくらむ まちづくり	宇沢 真介	大阪府岸和田市
	ひとりがひとりに声かけて みんなで担うまちづくり	大建 裕子	広島県広島市
	誰かがやるでなく！俺もやる！皆でやる！まちづくり	鈴木 稀夫	福島県伊達市

児童・生徒の部

賞	作 品	作者氏名	住 所
特 選	みんなでつくろう やさしい町 楽しい町 大好きな町	永井 真帆	広島県竹原市
準特選	地いきの人と助け合い すごくいい町 つくっちゃおう	中山 智喜	富山県黒部市
入 選	未来の町をつくります それは未来の私です	永井 美月	広島県竹原市
	ぼくたちが つくろうあたらしいまち おうえんヨロシク！	角森 多久哉	島根県安来市 <small>やすぎ</small>
	誰かじゃなくて 自分で創ろう 新たな町を	加藤 優香	千葉県 大網白里町

第6回 住まいのまちなみコンクール

1. 住まいのまちなみコンクールについて

身近な住環境は地域の方々によって維持管理され、安全、清掃、緑化、まちなみなどが保たれています。このようなコミュニティ活動が活性化していることは喜ばしいことですが、一方では敷地の細分化による密集化の進行、緑の減少など環境の悪化も見受けられます。今後、ますます住民や住民組織による維持管理活動の進展が望まれています。このような状況を踏まえ、維持管理活動に実績を挙げている住民組織をまちづくりのモデルとして表彰、支援するものです。

2. 主催・後援

- [主 催] まちづくり月間実行委員会、(財)住宅生産振興財団、
(一社)住まい・まちづくり担い手支援機構
- [後 援] 国土交通省、住宅金融公庫、独立行政法人都市再生機構、
(社)住宅生産団体連合会、(社)日本建築士会連合会、
(社)日本建築士事務所協会連合会、(財)ハウジングアンドコミュニティ財団

3. 事業実施経緯

- [応募期間] 平成22年7月1日～平成22年9月10日
- [審 査] 第1回 平成22年10月1日
第2回 平成22年12月1日
- [審査委員]
- | | | |
|-----|-------|--------------------------|
| 委員長 | 藤本 昌也 | (建築家/社団法人日本建築士会連合会会長) |
| 委員 | 井上 俊之 | (国土交通省大臣官房審議官) |
| | 上山 良子 | (ランドスケープアーキテクト/長岡造形大学学長) |
| | 大月 敏雄 | (東京大学 准教授) |
| | 松谷 春敏 | (国土交通省大臣官房技術審議官) |
| | 森 まゆみ | (作家・地域誌編集者) |
| | 森野 美徳 | (都市ジャーナリスト) |
- (五十音順/敬称略)
- [発 表] 平成22年12月
- [表 彰] 平成23年6月2日 (住まいのまちなみ優秀賞・住まいのまちなみ賞)
平成23年6月15日 (国土交通大臣賞)

4. 審査結果

- 国土交通大臣賞 (1点)
みずき町会 (瑞樹団地/石川県金沢市)
- 住まいのまちなみ優秀賞 (1点)
ふるさと土佐土居廓中保存会 (安芸市土居廓中/高知県安芸市)
- 住まいのまちなみ賞 (3点)
大城花咲爺会 (大城地区/沖縄県北中城村)
高幡鹿島台ガーデン54管理組合 (高幡鹿島台ガーデン54/東京都日野市)
光葉団地自治会 (光葉団地/茨城県稲敷市)

国土交通大臣賞 地区



団体名：みずき町会
地区名：瑞樹団地（石川県金沢市）

第13回 まちの活性化・都市デザイン競技

1. 趣 旨

これからのまちづくりにおいては、そこに生活し活動していることの豊かさが実感でき、誇りのもてる優れた景観を備えた環境整備が重要です。現代の活動にふさわしい新たな都市景観の形成には、まちの歴史や環境に配慮しながら、その都市固有の品格を備え洗練された表現と演出が求められ、その魅力が都市に活力を呼び戻し、新たな賑わいを伴って、まち全体が活性化していくことが期待されます。こうしたまちづくりの基本的課題を踏まえ、本「まちの活性化・都市デザイン競技」は、地域にふさわしい整備構想とまちのデザインについての提案を広く一般から募り、まちづくりに対する国民の関心を高めるとともに、活力ある美しい景観を備えたまちづくりの実現に寄与することを目的に平成10年度より毎年実施しているものです。

2. 主催・後援

- (1) 主 催 : まちづくり月間実行委員会、(財)都市づくりパブリックデザインセンター
- (2) 後 援 : 国土交通省、静岡県、静岡市

3. 事業実施経緯

- (1) 応募登録期間 : 平成22年10月 1日 (木) ~11月19日 (金)
- (2) 作品提出期間 : 平成23年 2月14日 (月) ~ 2月28日 (月)
- (3) 審 査 : 平成23年 3月29日 (火)
- (4) 表 彰 : 平成23年 6月15日 (水) (国土交通大臣賞)
平成23年 6月21日 (火) (まちづくり月間実行委員会会長賞)
(財)都市づくりパブリックデザインセンター会長賞
(奨励賞)
(静岡市長賞)

4. 審査委員

- 委員長 : 西 村 幸 夫 (東京大学教授)
- 委 員 : 石 川 幹 子 (東京大学教授)
- 加 藤 源 (都市プランナー)
- 岸 井 隆 幸 (日本大学教授)
- 北 山 孝 雄 (総合プロデューサー)
- 藤 本 昌 也 (建築家)
- 森 野 美 徳 (都市ジャーナリスト)
- 望 月 明 彦 (国土交通省都市・地域整備局市街地整備課長)
- 森 山 誠 二 (静岡県交通基盤部長)
- しりあがり寿 (漫画家)
- 小 嶋 善 吉 (静岡市長) (順不同)

5. 競技課題

全国から公募により選定した静岡県静岡市葵区の「七間町・七ぶらシネマ通り地区」(約6.7ha)を課題地区として、同地区における映画館3館の移転を前提に、従来の映画館に替わる次の時代に相応しい都市機能の創出、周辺との回遊空間の形成、そしてその回遊の起点となるような交通拠点の形成等に関して、実現手法も含めて、様々なアイデアと都市デザインを募集したものです(応募図書は、A1サイズのパネル2枚以内にまとめて提出)。

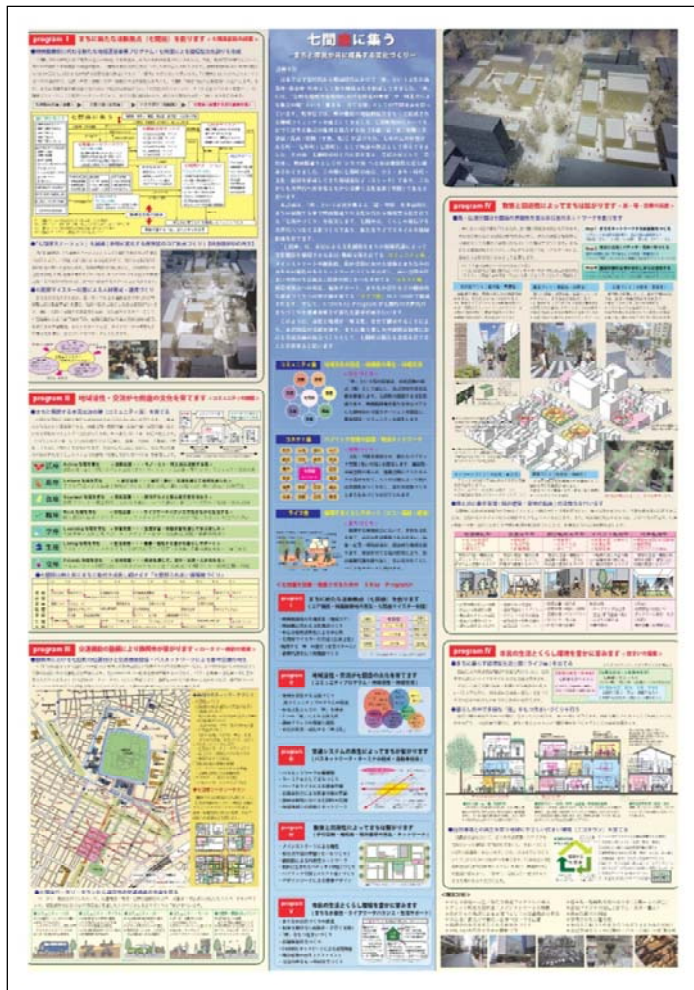
6. 応募作品数

41作品

7. 審査結果

- 国土交通大臣賞 (1点)
 - 小石川正男 他2名 (日本大学)
- まちづくり月間実行委員会会長賞 (1点)
 - 飯 田 爾 雅 他4名 (昭和設計株式会社)
- (財)都市づくりパブリックデザインセンター会長賞 (1点)
 - 堀 田 茂 之 他9名 (玉野総合コンサルタント株式会社、株式会社都市造形研究所)
- 奨励賞 (2点)
 - 永 野 聡 他5名 (早稲田大学理工学術院創造理工学研究所建築学専攻 [有賀研究室]・[後藤研究室]、フリーランス)
 - 茅 根 雅 司 他8名 (芝浦工業大学大学院環境設計研究室、芝浦工業大学環境設計研究室 [中野研究室])
- 静岡市長賞 (2点)
 - 秋 江 康 弘 他3名 (清水建設株式会社開発計画本部施設設計画部)
 - 海 野 洸 哉 他3名 (静岡県立科学技術高等学校)

国土交通大臣賞 受賞作品



受賞者 : 小石川正男、高田康志、保坂裕梨

(日本大学)